

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 1 防霜対策特集号

1. 高温により生育が早まる見込み！防霜対策の準備を早めに！ [注意] 1か月予報では、3月中下旬は気温が高くなる予報

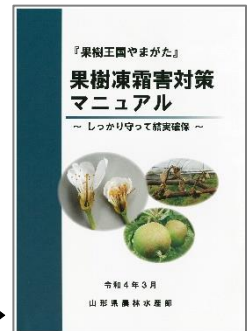
＜園芸農業研究所の生育状況＞ 3月16日現在

・雌しべ長は概ね平年並（紅秀峰：1.26mm、佐藤錦：1.11mm）

※凍害による雌しべの枯死が発生している園地も一部みられる

【事前の準備】

- ◇剪定が終了していない場合は急いで終わらせ、剪定枝を片付ける
- ◇スプリンクラー、暖房機などの施設や機械は早めに準備・点検する
特に、摘芽した園地・樹では必ず以下の防霜対策を実施する
- ◇地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く



※ご活用ください→

【主な防霜対策】

(1) 散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

(2) 防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、燃烧法を併用

(3) 燃烧法



- ・「霜キラー」や「防霜ロック」は10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前に火力が低下しないようにする

「低温アラート」システムを積極的に活用しよう！ 3月28日～順次運用開始

- ・県内の樹園地等に50台以上の小型気象装置を設置

※動作確認された地点から運用開始となります

- ・観測地点ごとに

- ① 現在の気温を確認できる
- ② 自分で設定した気温になると、メールで通知が届く

- ・利用は「やまがたアグリネット」から（会員限定、会員登録・会費は無料）

※アクセスは
こちらから→



2. 霜害にあいやすい条件

- ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ・雌しべの枯死がみられる園地

特に対策をしっかりと！

《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、または午後10時頃の気温が5℃以下

天気予報 + 自分で確認

◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安



発芽期頃

芽の先端に緑が出始めた頃
(雌しべ長: 1.3 mm前後)



発芽 10 日後頃

花芽が膨らみ、はっきりと
緑が確認できる頃
(雌しべ長: 2 mm前後)



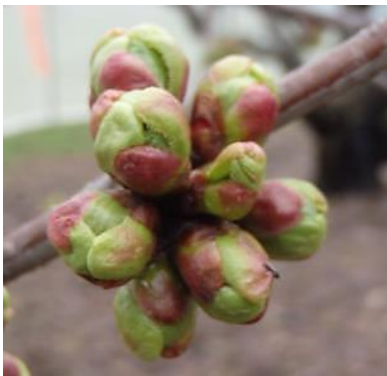
発芽 15 日後頃

さらに膨らみ、花芽の半分くらい
緑(赤)になった頃
(雌しべ長: 3 mm前後)

まだ被害が出にくい時期

**この頃から
注意が必要**

だんだん弱くなる



花芽が割れ始めた頃

(雌しべ長: 5 mm前後)



開花前～開花始期

(雌しべ長: 6～8 mm)



この時期が最も霜害に弱い！！

「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より生育の進みが早いので、対策は早めに！

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8270

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8301

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)